施設供用利用課題応募様式 記入要領

必要な応募様式については、以下の表を参照してください。

様 式 利用区分	様式 1 基本情報	様式 2 利用課題審査用	様式 3 利用課題審査用	様式 4 利用課題審査用
成果非占有	○	○	○	○
成果占有	○	△	○	△
トライアルユース	○	○	○	○

注）○:必要　△:一部必要（研究目的、安全性について記入のこと）

Ⅰ. 様式1（共通事項）:基本情報

1. 供用施設名及び実験装置名

　募集要項別紙の募集対象施設･設備を参考に利用希望施設名及び利用したい設備･装置名等を具体的に記入してください。（明確でない場合は、募集要項別紙の担当者に確認してください。）

　なお、同一研究課題で複数の施設･設備を利用する場合は、それぞれ①、②に記入してください。

2. 成果非占有･成果占有

　成果非占有か成果占有の欄にチェックしてください。

3. 優先利用･利用促進

　該当する場合は、優先利用･利用促進の欄にチェックしてください。

　なお、優先利用欄にチェックした方は、その競争的資金名を備考に記入してください。

4. 研究代表者

　募集要項の申込資格に該当する者とし、実験全体を把握し、かつ現場で安全に対して責任を持つことができる人を記入してください。 学生は研究代表者にはなれません。（研究協力者として参加することができます）。

　所属について、大学は学科まで、民間会社は所属部署、国公立研究機関は所属部門まで記入してください。

5.　研究協力者

研究参加者を記入してください。

なお、その施設・設備を使用するに当たり、機構研究者等の利用者への支援が必要な場合は、当該研究者等を研究協力者として参加させることができます。

また、成果発表の際に当該研究者が共著者となる場合は、利用支援に係る経費（追加経費）を徴収しないものとします。ただし、タンデトロン加速器質量分析装置及びペレトロン年代測定装置の利用で必要な前処理費用は、利用支援に係る費用ではありませんので、免除されません。

一方、成果占有の場合は、機構研究者等による利用者への支援は、有償ですのであらかじめご承知おきください。

6. 打合せをした機構担当者

応募される前に技術的可能性等について打ち合わせされた施設・設備の担当者の氏名及び所属を記入してください。

Ⅱ. 様式2(研究計画等):利用課題審査用

1.　研究計画等の記入

成果占有の方は「1)研究目的」以外は記入不要です。

① 研究計画全体の概要を、募集要項の課題審査の主旨に則り、具体的に分かりやすく記入してください。

1) 研究目的（成果占有については審査の対象にはしません。）
2) 研究の意義（独創性、新規性等を含む）
3) 設備・装置の必要性
4) 研究計画
5) 人材育成への寄与（研究計画が人材育成に寄与する場合は、どのように寄与するかについて記入してください。）
6) その他

＊トライアルユースの場合には、2)研究の意義に、今後の産業利用に繋がる可能性、今後の機構施設の利用の見込みについても併せて記載してください。

Ⅲ. 様式3(実施計画):利用課題審査用

1. 実施計画について記入

利用区分によらず、全ての方に記入していただく必要があります。

（成果占有の方も記入してください。）

① 実施計画には、使用する装置、ビーム条件、所要時間と回数、照射希望条件、個数等の実験規模が分かるように記載してください。マシンタイムの配分や利用時期（何月頃）の調整などで必要となります。

（希望実験日数等は、何月頃に何日など具体的な「日数」や「必要時間×回数」等を具体的に記入してください。）

1) 利用を希望する装置及び照射孔等
2) 試料環境及び希望実験日数等
3) 試料準備状況及び照射個数等
4) 実施する具体的実験･照射計画等
（なお、持ち込み装置･器具等がある場合は、合わせて記入してください。）
5) その他

Ⅳ. 様式4(研究成果／安全性等):利用課題審査用

1. 研究成果

課題採択において重要な判断基準となります。これまでに機構の施設供用による利用が無くても必ず記入ください。

利用課題提案に関連する研究成果及び研究発表を具体的（論文名、著者名、掲載誌名、巻、頁、発表年）に記載してください。

また、利用課題提案が、これまでの機構の施設供用と関連する場合は、関連性についても具体的に記入してください。

なお、成果占有に応募の方は、記入不要です。

2. 安全性等

安全性については、利用区分によらず、全ての方が記入していただく必要があります。（成果占有の方も記入してください。）

安全性等に関し、必要な事項を記入してください。

採択され、実験申請時には、別途手続きが必要な場合があります。

1) 核燃料物質

2）放射性物質
3）バイオハザード要対策実験など
4）遺伝子組替え実験など
5）生命倫理に係る実験など

持ち込む装置、器具等についても安全上必要な事項を記入してください。

なお、持ち込まれた試料、実験装置類は原則として実験終了時全て持ち帰っていただきます。

3. 申請状況

成果非占有の利用課題を申し込まれる方で、同一の施設・設備に係る他の機関が公募する申請がある場合は記入してください。その場合、当該課題の申請書の写しを 1 部ご提出ください。

問い合わせ先
renkei.shisetsu@jaea.go.jp
〒319-1112　茨城県那珂郡東海村村松 4 番地 49
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究開発推進部　研究推進課
TEL：　029-282-0251 （代表）
FAX：　029-282-0256

注記
共同研究者に外国人(非居住者)がいて、実験後に取得データ(基礎科学分野を除く)や試料等を当人に送るような場合には、輸出管理手続きが必要になる場合も考えられます。その場合には、それぞれの所属機関で定められた輸出管理を適切に行ってください。